

2021年度休眠預金事業 新型コロナウイルス対応支援助成
 「こども食堂を通じた復興格差是正・防止事業 —コロナ禍をよりレジリエントな地域創造のステップに—」
 申請団体一覧

全国こども食堂支援・コンソーシアム
 (幹事団体:認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ)

【申請団体】※五十音順

団体名	所在地	事業名	事業概要
一般社団法人 愛知子ども応 援プロジェクト	愛知県	子ども食堂 繼 続・再開・新規支 援事業 —子ども食堂を 通じた格差是正 を目指す—	<p>①子ども食堂が行う食事提供・お弁当配布・フードパントリーは地域で必要不可欠な活動となっているが、食材不足により回数を増やせないケースも多い。そこで、安定的に継続開催が可能となるように、食料支援をさらに拡大する。そのことにより、困難を抱えるご家庭やお子さんに、お弁当や食料品を頻回に届けられるようになれば、食事を通して生まれた繋がりにより、孤立孤独を防ぐことになる。</p> <p>②コロナ前の子ども食堂の開催形式に戻すことを目的とした感染対策備品を配布する。</p>
特定非営利活 動法人アト ピッ子地球の 子ネットワーク	山梨県	生活困難なアレ ルギーの子どもの いる家庭を子 ども食堂と共に サポートするプロ ジェクト	<p>新型コロナ禍生活困難となった、食物アレルギーの子どものいる家庭に、直接食品や粉ミルクを無償提供する。</p> <p>食物アレルギーの子も一般の子も同じものを食べるユニバーサルな食事の提供を希望する意欲的な子ども食堂へ食品の無償提供。</p> <p>子ども食堂からアレルギー対応食品セットを患者家族等に無償提供(パントリー)。</p> <p>全国800カ所の小児科、500カ所の子育て支援センター、社会福祉協議会等を通じて本プロジェクトの案内チラシ(兼ポスター)を配布。応募フォームをWeb上に作り支援希望者からの応募を受け付ける。</p> <p>粉ミルクは当法人東京事務所から、食品は山梨県のブランチから発送。</p> <p>随時、当事者や子ども食堂からの相談を受け付ける。</p>
えひめ地域こ ども食堂ネット ワーク	愛媛県	愛媛県こども食 堂ネットワーク体 制強化事 —組織体制強化 と新規休止子 ども食堂支援事業 —	<p>県内のこども食堂がさらに安定、継続して地域に根差した活動ができるよう取組みます。</p> <p>①休止中こども食堂再開・新規開始支援:コロナ禍で休止しているこども食堂再開・新規の開業ができるよう、アドバイスやスタッフ派遣、食料シェア推進などを行います。</p> <p>②ネットワークの体制強化:県内の東予・中予・南予、3地域毎のこども食堂連携と県全体の横断的連携が有機的・組織的に行える体制強化を進めます。</p> <p>③こども食堂ネットワークの広報推進:地域や企業がこども食堂とネットワークへの理解を深めることができるセミナーやイベントを開催します。</p> <p>④四国内こども食堂ネットワークの連携:食料シェアや情報交流の機会を作ります。</p>
特定非営利活 動法人かごし まこども食堂 支援センター たくして	鹿児島 県	こども食堂で島 のみんながつな がる事業 —離島市町村で のこども食堂基	<p>当事業では、対策が早急に必要な離島に誰もが「わかりやすく」「伝えやすく」「参加しやすい」活動として「島カレーこども食堂」を実施する。</p> <p>この事業は、①誰もが知っているカレーを活用した「島カレーこども食堂」の設立運営伴走支援を実施する。</p>

		盤整備事業一	<p>①の運営を支援するため、②多様なステークホルダーに対する理解促進事業、③各離島間のステークホルダー連携強化（島カレー部）事業④アンバサダー（支援者）運営支援事業を行う。</p> <p>このカレーは、身近にある「島ならでは」の食材で調理でき地域との連携も取りやすく、嗜好の偏りが少なく、従来から「楽しい」イメージが定着しているため、取り組みやすいメニューである。</p>
信州こども食堂ネットワーク 長野地域	長野県	食を通じた支援活動サポート事業	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により生活に苦慮している子育て家庭を、本事業でサポートをする子ども食堂を通じて支援します。</p> <p>②お弁当作りを通して、働くことが難しい若者に働くことの楽しさを身をもって体感してもらいます。</p> <p>③新規協力企業の開拓により、子ども食堂の支援、フードロスの削減に取り組みます。</p> <p>④WEB会議の浸透により取り残されている子ども食堂を支援します。</p>
特定非営利活動法人チャイルドケアセンター（福岡県こども食堂ネットワーク）	福岡県	こども食堂の再開支援・地域格差解消に向けた地域実践事業	<p>①こども食堂の再開支援として、コロナ禍の影響でこども食堂の運営を休止していた団体と、コロナ禍でもこども食堂を実施してきた団体（例えば、筑紫地区のこども食堂）との交流会（情報交換会）を実施し、休止していた団体の再開を後押しする。</p> <p>②こども食堂の地域格差を是正するために、こども食堂が少ない地域でこども食堂の啓発イベントを実施したり、こども食堂立ち上げのための講座（相談会含む）を開催したりすることで、こども食堂の担い手の発掘とスタートを支援する。</p> <p>③再開したこども食堂と新規に立ち上がったこども食堂の活動が継続できるように、県域での交流会や研修会などを実施する。</p>
ふくしまこども食堂ネットワーク	福島県	コロナ禍のこども食堂基盤づくり事業 一福島のこどもと保護者のための緊急支援一	<p>コロナ禍で閉じていたこども食堂を再開する8団体の再開支援を行う。</p> <p>その際、物資提供やお弁当提供も含めた再開の支援を行う。また、コロナ禍で困難を抱えたこどもたちに新たにこども食堂を実施したい団体3団体について、子どもの食堂開催のための食材提供、等を行う。</p> <p>また、コロナ禍で食材費が予想以上に必要になっている。再開8団体、新規開催5団体において持続可能性を高めてゆくために、資金集めのための広報事業も行う。</p> <p>短期間で、効率的に進めてゆくために毎月定期的に、伴走する支援者を配置する。</p>